

令和3年度 第1回神戸市市民福祉調査委員会

計画策定・検証会議

日時：令和3年11月9日

場所：オンライン・1141 会議室

議事次第

1. 開会

2. 議題

“こうべ”の市民福祉総合計画2025の検証評価方法について

3. 報告

令和2年度神戸市ネットモニターアンケートの調査結果について

4. 閉会

資料

資料1	神戸市市民福祉調査委員会 計画策定・検証会議 委員・事務局名簿
資料2	“こうべ”の市民福祉総合計画2025の検証評価方法について
資料3	評価の方法について
資料4	“こうべ”の市民福祉総合計画2025 報告書案
資料5	神戸市ネットモニターアンケートについて

市民福祉調査委員会 計画策定・検証会議

委員名簿

(50音順・敬称略)

上村 敏之	関西学院大学経済学部 教授
金子 良史	社会福祉法人基督教日本救霊隊神実業学院理事長
竹内 友章	東海大学健康学部 助教
玉置 和美	神戸市社会福祉協議会 地域支援部地域福祉担当課長
中川 寿子	生活協同組合コープこうべ 常勤理事
中村 順子	NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸理事長
中村 祐介	株式会社あらたか 代表取締役社長
西垣 千春	神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授
長谷川 和子	つつじが丘ふれあいのまちづくり協議会 運営・特別委員
吉岡 洋子	関西大学社会学部教授

事務局名簿

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事務局人数を縮小しております。

小林 令伊子	福祉局 副局長
神谷 俊幸	福祉局 政策課担当課長（調査担当）
宮田 義隆	福祉局 政策課担当係長（調査担当）
三谷 一仁	福祉局 介護保険課担当係長
丸岡 友美	福祉局 介護保険課担当係長

“こうべ”の市民福祉総合計画 2025 の検証評価方法について

1. 評価の主な方針

- ①市民や事業者の声をききながら評価を進める質的な評価を試行的に実施
- ②従来型の検証シートを廃止し、簡潔な報告書を作成

2. 評価の方法

①評価の方法に関して （資料3 参照）

- ア) 評価の考え方
- イ) インターネットアンケートの活用
- ウ) 具体的な事業を選定し、対面もしくはアンケート等でのヒアリング
⇒ヒアリング候補事業・選定の考え方

②報告書案に関して

⇒報告書（案）（資料4 参照）

3. 今後の進め方

- ・令和3年度～令和4年度当初・・・ヒアリングの実施、報告書の作成
- ・令和4年度夏頃・・・・・・・・・・計画策定・検証会議への報告
- ・令和4年度冬頃・・・・・・・・・・市民福祉調査委員会への報告



資料3 評価の方法について

1

ア) 評価の考え方 ～計画の体系～



基本理念

～ソーシャル・インクルージョンの実現～

方向性1

みんなが参加行動で
きる人づくり

方向性2

安心を保障できる仕
組みづくり

方向性3

人と人がつながり支
えあう環境づくり

2

ア) 評価の考え方 ～計画の体系～



方向性1 みんなが参加 行動できる人づくり

視点1

参加しやすい地域づくり

視点2

参加の継続と定着を促進（活動の支援）

- ・集まれる場所があることへの安心感
- ・ボランティア活動等が生きがいにつながる

- ・取組みの定着が視点1へとつながる

基本理念の実現に寄与

- ・自身の役割を持ったり、互に関わり合いを持ちながら協力
- ⇒ 市民福祉の推進

3

ア) 評価の考え方 ～計画の体系～



方向性2 安心を保障できる仕組みづくり

視点1

各分野施策を横断する包括的な支援体制の整備

視点2

その人らしい暮らしの実現への取組み

- ・サービスがあることへの安心感

- ・自分らしくいられる居場所ができること
- ・多様性の理解が進むこと

基本理念の実現に寄与

- ・市民一人ひとりが地域で安心して暮らしている

4

ア) 評価の考え方 ～計画の体系～



方向性3 人と人がつながり支えあう環境づくり

視点1
地域活動主体の連携を強化する仕組み

視点2
地域共生社会の実現（啓発）

- ・ 連携の強化による施策の推進
- ・ 複雑化・多様化する福祉課題への対応

- ・ 市民の福祉への理解を育み、ソーシャル・インクルージョンの実現を目指す

基本理念の実現に寄与

- ・ 多様性の理解を広げ、人権を尊重し、互に関わり合いを持ち、協力
- ・ 市民、事業者、専門機関、行政が連携をより深め、みんなで福祉の輪を広げていく

5

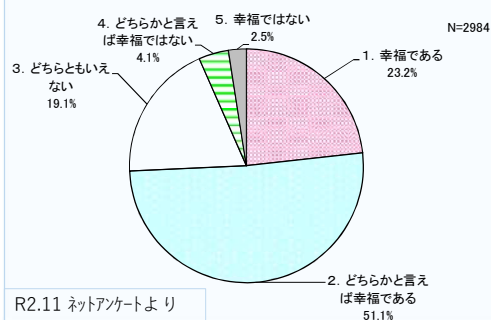
イ) インターネットアンケート等の活用



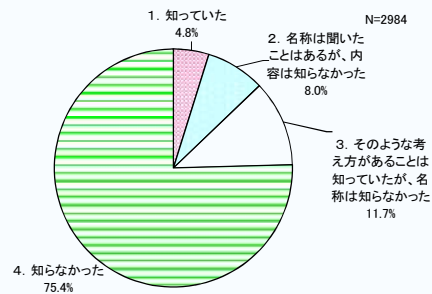
- ①神戸市ネットモニターアンケート（1回/年）
- ②市民福祉に関する行動・意識調査（1回/5年）

<観測指標>

・ 幸福感/孤独感



・ ソーシャル・インクルージョンの認知度



6

ウ) ヒアリング



一般介護予防事業（介護予防カフェ等）

計画の方向性の一つである市民の参画に関する事例であり、介護予防カフェの主催者・参加者を中心に、参加のきっかけや感想、日常生活への影響などについての意見を伺いたい。

居場所づくり事業

地域社会とつながりが希薄な人を対象に、生きがいややりがいを感じることができる居場所や機会づくりに取り組んでおり、取りこぼさない支援に向けて尽力されている事業者やそうした居場所への参加者等の声を聞きたいと考えている。

7

ウ) 介護予防カフェ



介護予防カフェとは

ネスレ日本より無償で貸与されるコーヒーマシンでコーヒーを楽しみながら語り、介護予防に関する健康情報などを得られる住民主体の「つどいの場」です。

地域の皆様が主体となり、自主性、独自性によって柔軟な介護予防カフェを実施していただきます。



<開催要件>

- ・地域住民で構成された5人以上のグループであり、対象者に高齢者が含まれていること
- ・新規参加者を受け入れること
- ・コーヒーマシンの管理をおこなうこと など

<支援内容>

- ・カフェスタート応援セット（コーヒーカートリッジ やクリーム 約50杯分）
- ・介護予防等の情報提供 など（健康情報リーフレット等）

R3.8 現在 市内45か所

8

“こうべ”の市民福祉総合計画 2025 年次報告書

< 計画の概要 >

基本理念 | 誰もが安心して自分らしく暮らせる市民福祉の実現

方向性1 | みんなが参加、行動できる人づくり

方向性2 | 安心を保障できる仕組みづくり

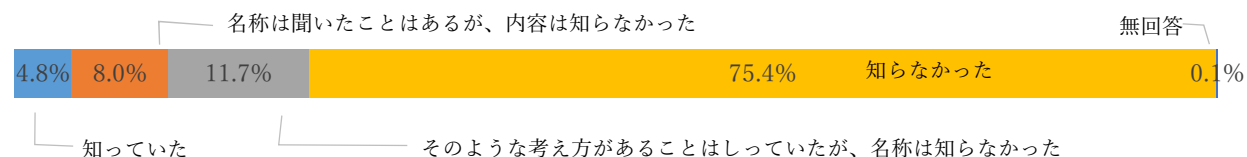
方向性3 | 人と人がつながり支えあう環境づくり

< 神戸市の現状 >

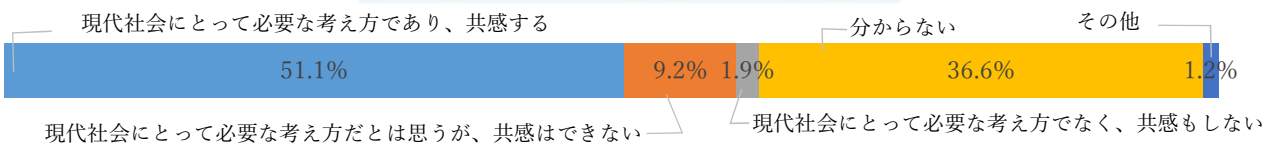
○ソーシャル・インクルージョンについて

⇒ 言葉自体についての認知度はまだまだ低いですが、理念については賛同を得ている

< ソーシャル・インクルージョンの認知度 >



< ソーシャル・インクルージョン考え方 >

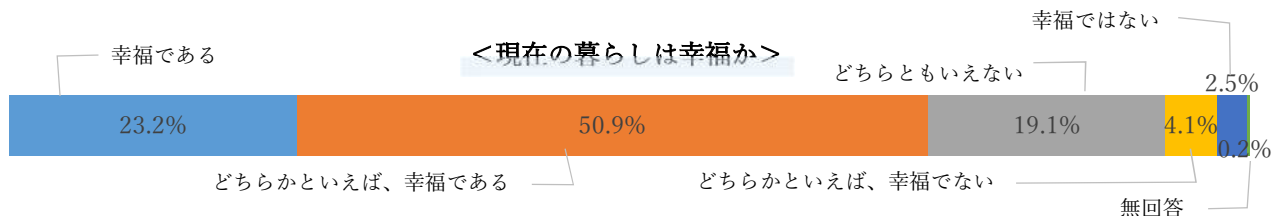


(その他意見)

・今はまだ若いのでそこまで必要だとは思わないが、将来は必要になってくるのではないかと思う 等

○幸福度について

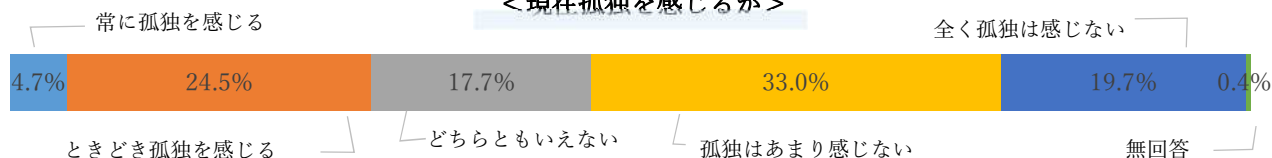
⇒ 7割近くの方が、幸福もしくはどちらかと言えば幸福と回答している。残り3割の方が少しでも幸福と思ってもらえるよう多角的な視野を持ちながら施策を推進する必要ではないか。



○孤独感について

⇒ 約3割の方が、孤独もしくはときどき孤独を感じており、つながりをどのように作っていくのかを考えていく必要があるのではないか。

< 現在孤独を感じるか >



< 主な取組み内容について >

○ △△事業

【概要】

・

【コロナ禍における取組み】

・

【事業者の声】

・

【利用者の声】

・

【実績】

・

【今後の展望】

・



<事業実績一覧>

方向性	視点	項目	項目	事業	取組み状況
【1】	(1)	①	集まりやすい 環境づくり	地域見守り・支え合いシス テム	〇〇〇〇 量的指標（あれば）
【1】	(1)	①	集まりやすい 環境づくり	介護予防・日常生活支援総 合事業	
【1】	(1)	①	集まりやすい 環境づくり	介護予防カフェ	



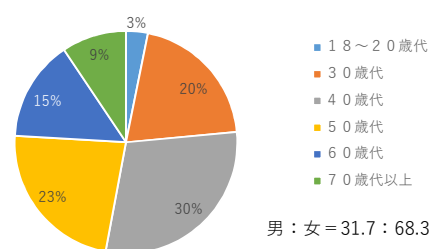
資料5 神戸市ネットモニター アンケートについて

1

神戸市ネットモニターアンケート概要

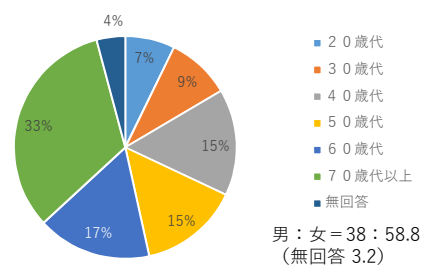


- 神戸市ネットモニター
調査期間：R2.11.10～R2.11.23
対象モニター数：5,037名
回答モニター数：2,984名（59.2%）



(参考)

- 市民福祉に関する行動・意識調査（郵送）
調査期間：R元.11.22～R元.12.19
対象モニター数：5,000名
回答モニター数：1,828名（36.6%）

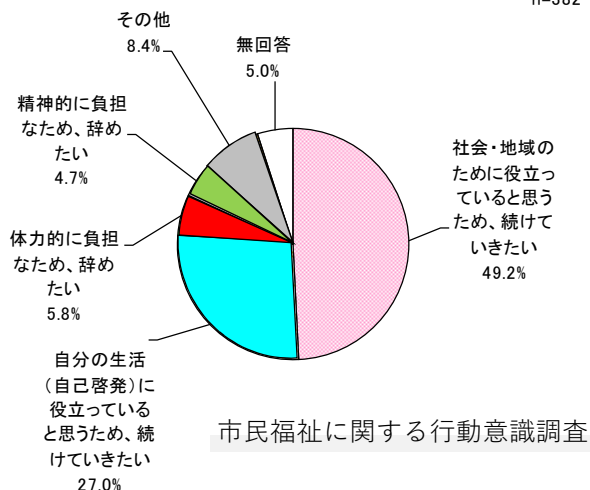
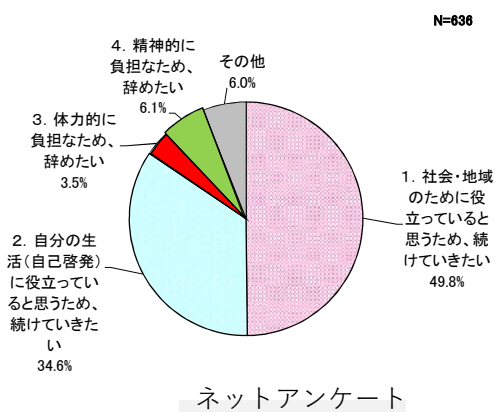


2

ボランティア活動への参加にあたり感じていること

・ボランティア活動への参加状況では、約20%の方が参加していると回答

n=382



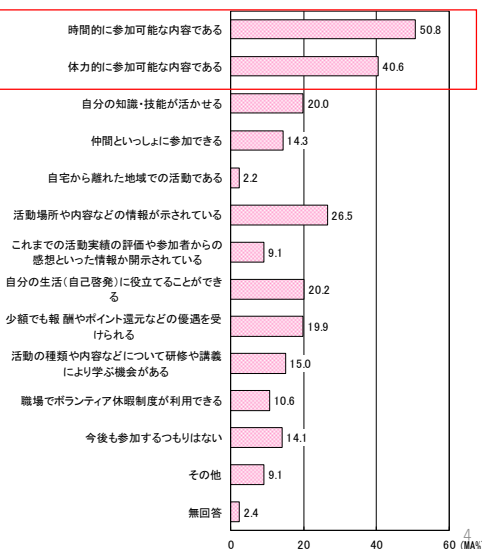
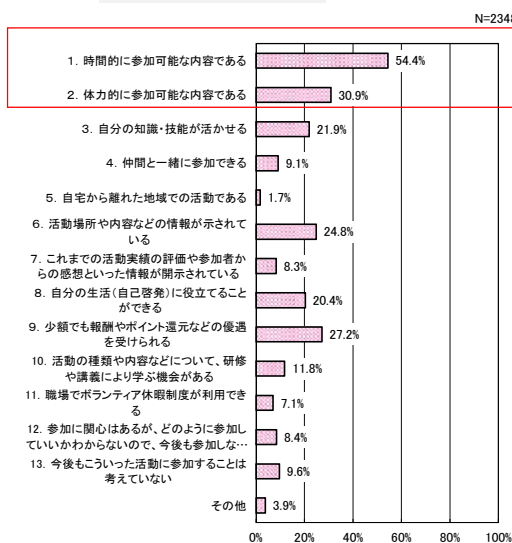
○ 約8割の方が今後も続けていきたいと回答している。

3

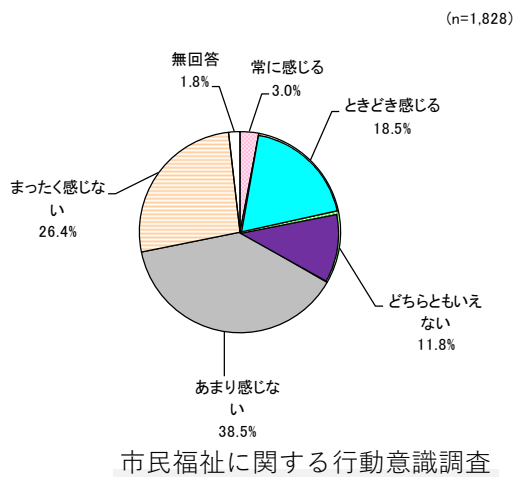
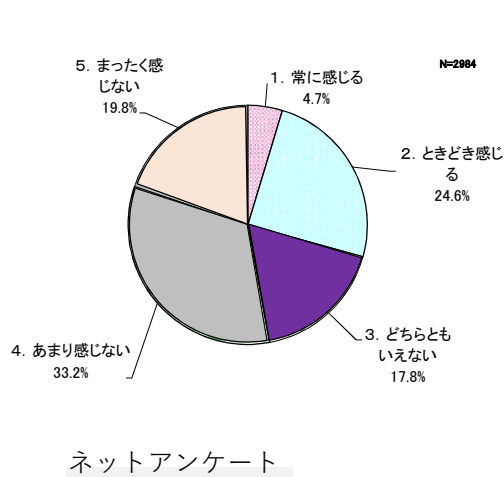
どういう条件が整えばボランティア活動へ参加するか？

ネットアンケート

市民福祉に関する行動意識調査 (n=1,413)



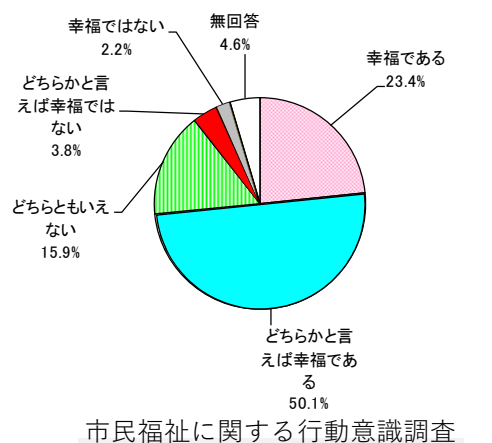
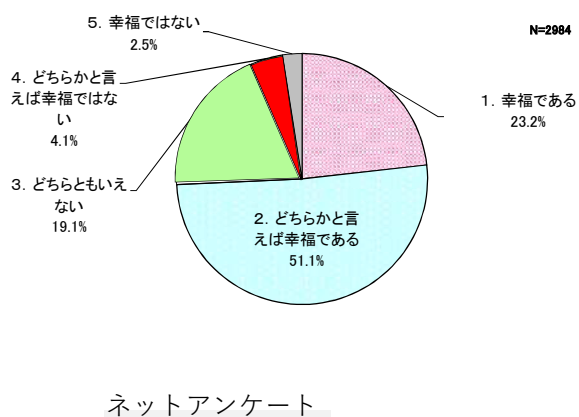
孤独であると感じているか



○ 二つの調査で多少誤差はあるものの、約2割から3割の方が孤独を感じていると回答

5

現在の暮らしは幸福か



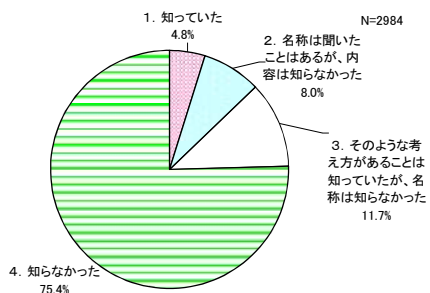
○ 約4分の3の方が幸福または、どちらかと言えば幸福であると回答

6

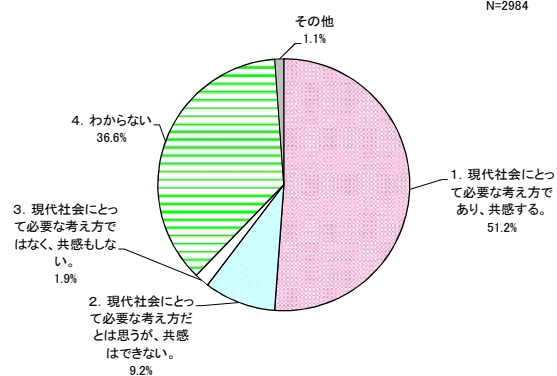
ソーシャル・インクルージョンについて（ネットアンケート）



<ソーシャル・インクルージョンを知っているか>



<ソーシャル・インクルージョンの考え方について>



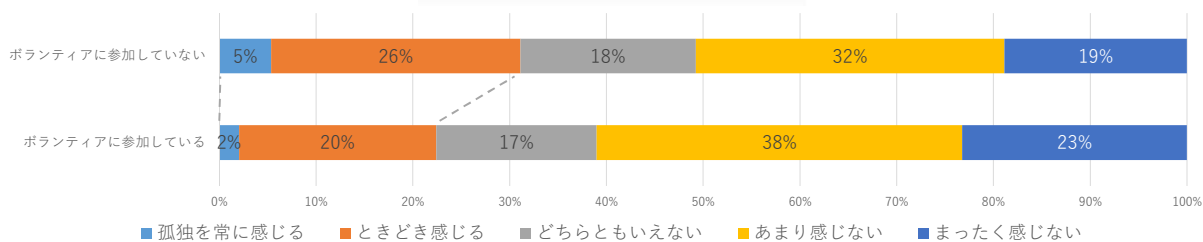
- 認知度は低いが、考え方については半数以上の方が必要な考え方で共感すると回答している。

7

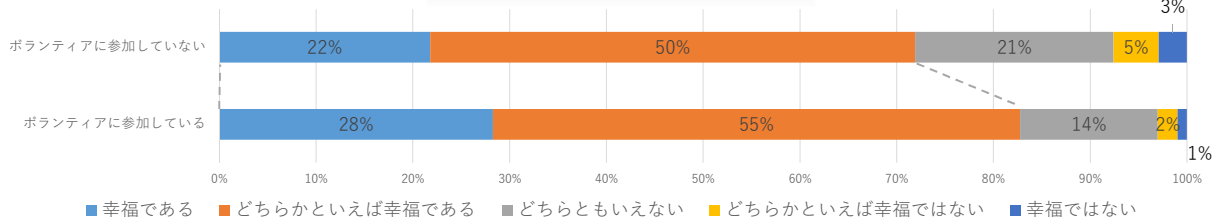
ボランティア参加 × （孤独感・幸福感）



ボランティア参加 × 孤独感



ボランティア参加 × 幸福感



8



R3年度ネットモニター アンケート案について

9

アンケートの設問案



- あなたの現在の幸福感、孤独感について
- 定期的なボランティア活動や地域活動への参加状況、頻度について
- 気軽に相談できる人の存在（心配事や愚痴を聞いてくれる人）
- 両親との交流状況 等

10